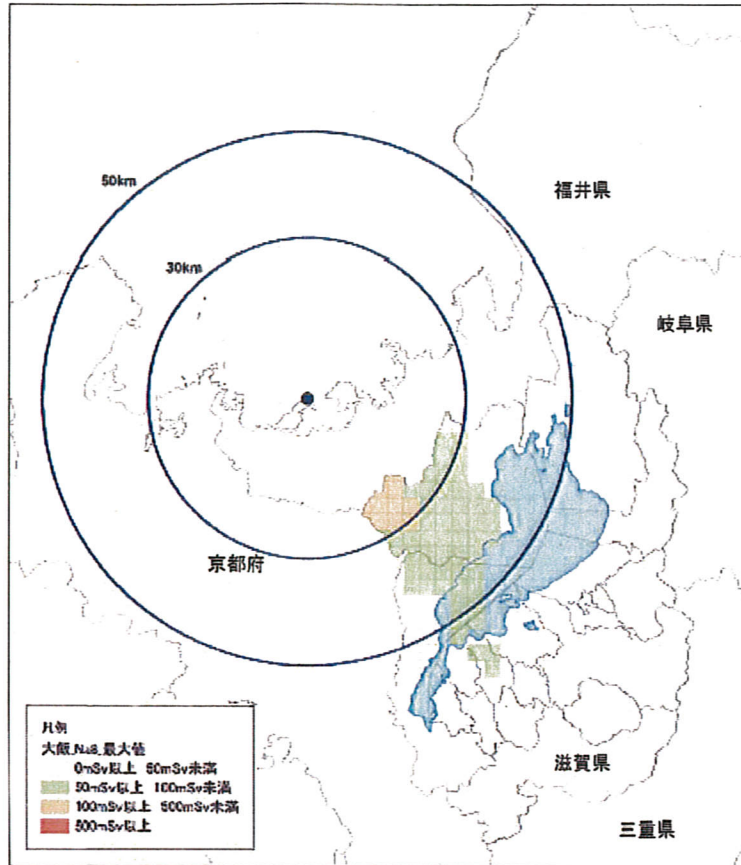


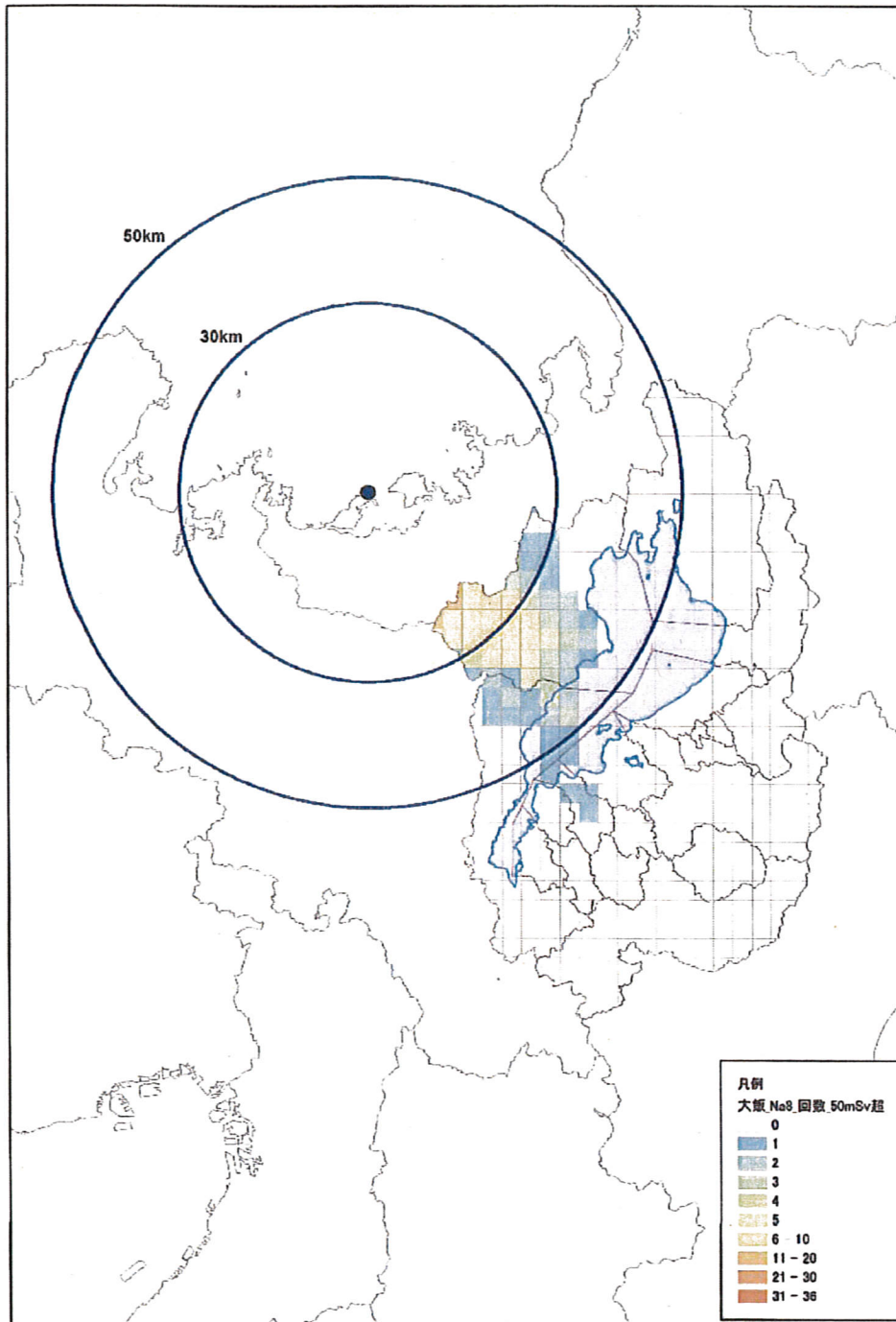
大気シミュレーションモデルによる放射性物質拡散予測
 最高濃度分布図（大飯発電所）
 甲状腺被ばく等価線量



拡散予測前提条件

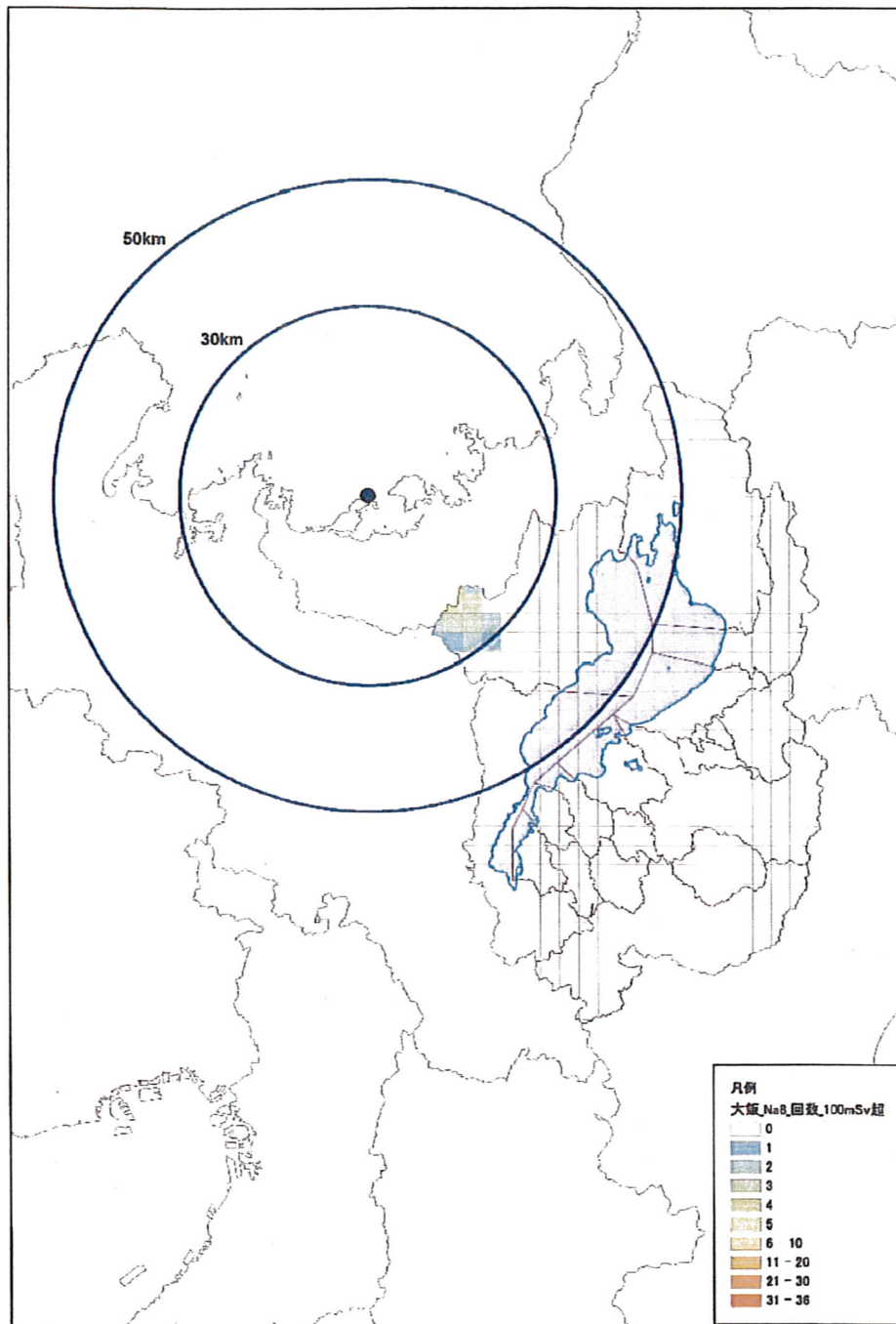
- ① 放出量 : ヨウ素 $2.4 \times 10^{16} \text{Bq}$
 (福島第一原子力発電所 3月15日7時~17時の推定放出量は $2.2 \times 10^{16} \text{Bq}$)
- ② 放出時間 : 6時間
- ③ 排出高さ : 第3層 (約44m~73m)
- ④ 放出想定発電所 : 関西電力大飯発電所
- ⑤ シミュレーション日の選定方法 :
 2010年のアメダスのデータを基に、滋賀県に影響が大きくなると考えられる日を設定する。
 選定方法は以下に示す。
 - ・北の風(西北西~東北東)が長時間になる日
 - ・風速が緩やかな日
 上記にあてはまる日を1か月に5日(年間60日)抽出し、さらに抽出した日から滋賀県に影響が大きい日を1か月に3日(年間36日)抽出し大飯発電所からの拡散のシミュレーションを行った。
- ⑥ 積算線量の計算方法 :
 第1層の濃度を用いて計算を行い、1時間ごとの被ばく線量を計算し、24時間分を積算。
- ⑦ 屋外・屋内滞在時間 : 屋外8時間 屋内16時間
- ⑧ 図示方法 : 36ケースのシミュレーション結果から、最高濃度となる区域の分布を示した。
 (他府県は除く)。

大気シミュレーションモデルによる放射性物質拡散予測
 基準超過出現回数分布図（大飯発電所）（50mSv以上）
 甲状腺被ばく等価線量



36 ケース分において、甲状腺被ばく等価線量 50mSv 以上になる回数を図示した。（他府県は除く）

大気シミュレーションモデルによる放射性物質拡散予測
 基準超過出現回数分布図（大飯発電所）（100mSv以上）
 甲状腺被ばく等価線量



36 ケース分において、屋内退避の基準以上(甲状腺被ばく等価線量 100mSv 以上)になる回数を図示した。(他府県は除く)